

# 職場体験学習に協力

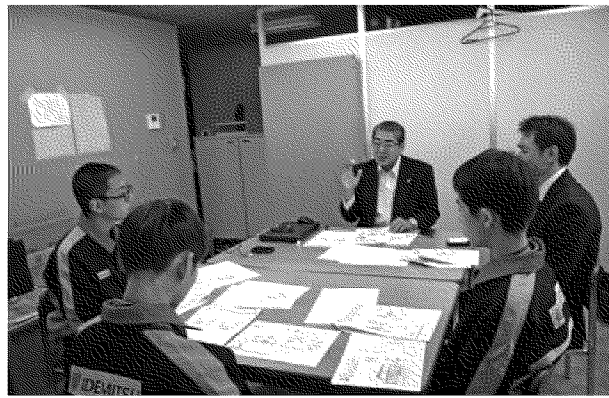
## 東和興産 中学2年生を対象に

東和興産(東京都荒川区、林彰社長、出光治大大学付属中野中学校)は、林彰社長、出光治大大学付属中野中学校(東京都中野区、大渡正三校長)と東品川SS(東京都品川区、大渡正三校長)の協力で、二日三日の職場体験学習に協力した。

林彰社長がOB会の縁で実現した。同中学校での職場体験は今回が初めて。なお、同社も私立学校を初めて受け入れた。

伊久美武史(中野中学校)が、安全安心に使うことを参考にした。伊久美武史(中野中学校)が、安全安心に使うことを参考にした。伊久美武史(中野中学校)が、安全安心に使うことを参考にした。

伊久美武史(中野中学校)が、安全安心に使うことを参考にした。伊久美武史(中野中学校)が、安全安心に使うことを参考にした。伊久美武史(中野中学校)が、安全安心に使うことを参考にした。



職場体験にあたって林社長が心構えを伝える



プレステージミニノ輪での集合写真



東品川SSでの集合写真

同じような接客をしてい」と述べた上で、危険物施設での職場体験ということを強調し、注意を促した。

配布したテキスト「ガソリンスタンド職場体験学習」を使った座学研修を行った後、太郎統括マネージャーが乗客へのあいさつの重要性を話し、座学では原油の説明や歴史を述べた。

プレステージミニノ輪史を多岐に渡って教えた。杉本マネージャーは「社会科や理科に役立てて欲しい」と期待を述べた。

三人の計八人が参加した。一日午前中には林彰社長が心構えを伝え、「ガソリンスタンドはお客さまの車に給油することがメインであるが、安全安心に使うことがメインである。伊久美武史(中野中学校)が、安全安心に使うことを参考にした。伊久美武史(中野中学校)が、安全安心に使うことを参考にした。